

◎教科書『歴史総合 近代から現代へ 改訂版』p.132～167を読んで、次の課題に取り組みましょう。

1. 教科書の該当ページを参考に、各問いに答えなさい。教科書 p.132～146【知識・技能】解答番号 1～10

問題1 以下の問いに答えなさい。教科書 p.132 解答番号 1

1929年10月、アメリカ合衆国のニューヨーク、ウォール街にあるニューヨーク株式市場で株価が暴落して、その後世界中に波及した恐慌を何というか。 p.132

問題2 以下の文の空欄に入る語句を答えなさい。教科書 p.133～134 解答番号 2

1933年に大統領に就任した民主党のフランクリン・ローズヴェルトは、() (新規まき直し) という合言葉のもと、国家による積極的な介入路線をとった。 p.133

問題3 以下の文の空欄に入る語句を答えなさい。教科書 p.134 解答番号 3

ソ連では、1924年にレーニンが死去したのち、() が一党社会主義論を提起した。

問題4 以下の文の空欄に入る語句を答えなさい。教科書 p.134 解答番号 4

ソ連では、1927年から28年にかけて、突如として全面的な社会主義の建設へと舵が切れ、計画経済体制が導入され、() が策定された。 p.134

問題5 以下の文の空欄に入る語句を答えなさい。教科書 p.135～136 解答番号 5

ドイツでは、1933年に() が成立したことで、ヒトラー、ナチ党に独裁的な権限を与えられた。 p.135

問題6 以下の文の空欄に入るものを、ア～エから選びなさい。教科書 p.137 解答番号 6

ドイツは、1938年にオーストリアを併合し、ついで、「民族自決」を掲げてチェコスロヴァキアにドイツ人が多く居住する() 地方の割譲を求めた。 p.137

ア.ベーメン イ.ダンツィヒ ウ.プラハ エ.ズデーテン

問題7 以下の文の空欄に入るものを、ア～エから選びなさい。教科書 p.138 解答番号 7

第1次若槻内閣の外務大臣() は中国の関税自主権回復を支持するなど、協調外交を進めた。
ア.加藤高明 イ.高橋是清 ウ.幣原喜重郎 エ.田中義一

問題8 以下の文の空欄に入るものを、ア～エから選びなさい。教科書 p.138～139 解答番号 8

田中内閣は、中国で北伐軍から山東省済南の居留民を保護する名目で、3次にわたる() をおこなった。
ア.山東出兵 イ.満洲事変 ウ.西安事件 エ.盧溝橋事件

問題9 以下の問いについて、適当なものをア～エから選びなさい。教科書 p.143 解答番号 9

抗日より共産党撲滅を優先していた蒋介石は、1936年、張学良に監禁のうえ説得され、抗日のため共産党と妥協する方針に転換した。この事件を何というか。

ア.山東出兵 イ.満洲事変 ウ.西安事件 エ.盧溝橋事件

問題10 以下の文の空欄に入るものを、ア～エから選びなさい。教科書 p.146 解答番号 10

1939年9月、ドイツが突如として() に侵攻し、第二次世界大戦が始まった。
ア.ポーランド イ.イタリア ウ.ソ連 エ.オーストリア

2. 各文章を完成させなさい。教科書 p.133~156 解答番号 11~30

金本位制からの離脱と世界経済のブロック化 教科書 p.133

世界恐慌が発生した当時、各国は金本位制をとっていた。しかし、各国は、世界共通の価値基準である金にもとづく金本位制を離れ、それぞれの国で自国の貨幣の流通量などを管理する、(11)へと移行した。金本位制からの離脱と(12)によって、(13)は急速に失われていった。12が進むと、ドイツ・イタリア・日本といった、(14)をもたない国々は経済的に不利な立場におかれ、イギリスなどに対する反発を強めた。

問題 1 空欄 11 に入る語句を答えなさい。【知識・技能】解答番号 11

問題 2 空欄 12~14 に入るものを、ア~ウからそれぞれ選びなさい。【思考・判断・表現】解答番号 12~14

ア.ブロック経済の形成 イ.広大な植民地 ウ.世界経済の一体性

1930 年代のヨーロッパ 教科書 p.136~137

(15)の率いるファシズム国家であるイタリアは、独自に勢力圏の拡大をはかり、1935 年にはエチオピアに侵攻し、翌年に併合した。国際世論の反発を受けるなかで、イタリアは(16)した。フランスでは反ファシズムの気運が盛り上がり、1936 年には社会党を中心とする人民戦線内閣が成立した。人民戦線内閣は(17)する政策をとったが、経済危機を克服できず、翌年に退陣した。スペインでも 1936 年に人民戦線政府が成立したが、(18)が反発した。こうしたなか、保守勢力を率いる軍人のフランコが反乱をおこしてスペイン内戦が始まった。

問題 3 空欄 15 に入る語句を答えなさい。【知識・技能】解答番号 15

問題 4 空欄 16~18 に入るものを、ア~ウからそれぞれ選びなさい。【思考・判断・表現】解答番号 16~18

ア.労働者の利益を重視 イ.ドイツに接近 ウ.軍部や地主などの保守勢力

満洲国の成立 教科書 p.140

1931 年 3 月、日本では政党政治への不信から陸軍の青年将校たちが軍部政権樹立のクーデタを計画したが未遂に終わった。しかし、中国で高まる国権回収運動を前に、このままでは(19)と考えた関東軍の石原莞爾らは、同年 9 月、南満洲鉄道の線路を爆破し、これを(20)して、満洲全域を軍事占領した。中国は国際連盟に訴え、アメリカは日本の(21)した。第 2 次若槻内閣は陸軍の動きや満洲事変、恐慌への対応をめぐり意見が分裂して退陣し、12 月に立憲政友会の犬養毅内閣が成立した。関東軍は、1932 年 3 月に清の最後の皇帝溥儀を執政として現地の有力者たちに(22)を建国させた。22は、表向きは現地の有力者たちが「五族協和」を掲げ自主的に樹立した独立国であったが、実際には日本の傀儡国家であった。

問題 5 空欄 19~21 に入るものを、ア~ウからそれぞれ選びなさい。【思考・判断・表現】解答番号 19~21

ア.満洲権益が守れない イ.行動の否認を表明 ウ.中国軍のしわざとして軍事行動を開始

問題 6 空欄 22 に入る語句を答えなさい。【知識・技能】解答番号 22

新たな国際秩序 教科書 p.152

終戦後まもない 1945 年 10 月、アメリカのニューヨークに本部において、(23)が発足した。国際連盟の意思決定には十分な実効力がなかったという反省から、23の制度づくりでは、(24)ことに大きな注意が向けられた。そこで、意思決定を多数決とする総会をおく一方で、(25)安全保障理事会(安保理)が設けられた。安全保障理事会は、アメリカ・ソ連・イギリス・フランス・中国(中華民国)の常任理事国と(26)非常任理事国から構成された。なお、常任理事国には拒否権が与えられており、いずれか 1 国でも拒否する場合には、安全保障理事会は決定を採択することができない。

問題 7 空欄23に入る語句を答えなさい。【知識・技能】解答番号23 p.152

問題 8 空欄24~26に入るものを、ア~ウからそれぞれ選びなさい。【思考・判断・表現】解答番号24~26

ア.総会の選挙で選ばれる イ.国際平和を維持する目的で軍勢力を行使できる ウ.意思決定に実効力をもたせる

朝鮮戦争 教科書 p.155~156

日本の植民地だった朝鮮は第二次世界大戦中のカイロ会談で独立が決まっていたが、戦後、(27)を境に、北部をソ連が、南部をアメリカが占領することになった。その後、統一政府の樹立に向けて協議がなされたが、米ソ対立が激化すると南北の分裂は決定的となり、1948年に、南側ではアメリカから帰国した(28)とする大韓民国(韓国)が、北側では(29)であった金日成を首相(72年以降主席)とする朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が成立した。当時、経済・軍事面で優位にあった北朝鮮は、朝鮮の統一をめざして、1950年に27をこえて南に侵攻した。国連安全保障理事会はこれを侵略として非難し、(30)が朝鮮半島に派遣された。いったん朝鮮半島南端の釜山付近までセマッタ北朝鮮軍は、国連軍の反攻を受けて逆に中国国境付近までおし返され、これに対して中国が軍(名目は人民義勇軍)を派遣して北朝鮮を支援し、戦線は27付近で膠着した。

問題 9 空欄27に入る語句を答えなさい。【知識・技能】解答番号27

問題 10 空欄28~30に入るものを、ア~ウからそれぞれ選びなさい。【思考・判断・表現】解答番号28~30

ア.満洲における抗日運動の指導者 イ.独立運動家の李承晩を大統領 ウ.アメリカ軍を主力とする国連軍

3. 資料の読み取りに関する各問いに答えなさい。それぞれの問いで指示された資料は教科書を見ながら解答すること。
【思考・判断・表現】解答番号31~34

問題 1 p.141 写真「国際連盟の対日勧告案可決を報じる新聞記事」について述べた文として適当なものを、ア~エから選びなさい。解答番号31

ア.この時の日本の全権大使は高橋是清である。

イ.日本はこの会議によって全会一致で国際連盟への加入が認められた。

ウ.日本はこの会議によって満洲国が認められ、列強の仲間入りを果たした。

エ.日本は国際連盟脱退を決め、世界の国際協調の動きには水を差したが、新聞ではこれを肯定的に報じている。

問題 2 p.143 地図「日中戦争関係図」について述べた文として適当なものを、ア~エから選びなさい。解答番号32

ア.日本は北京での盧溝橋事件をきっかけに、日中戦争と呼ばれる本格的な戦争を始めていった。

イ.日本は、11月に上海を占領したのちに、香港、南京、武漢の順に占領していった。

ウ.中国は日本の侵攻に対し、重慶、南京、北京の3つの都市を順番に首都とし、抵抗を続けた。

エ.中国は首都を中国奥地へと移していくなかで、援張ルートと呼ばれる援助を得て長期抗戦の方針をとった。

問題 3 p.147 図「第二次世界大戦の国際関係」について述べた文として適当なものを、ア~エから選びなさい。解答番号33

ア.ソ連はポーランド侵攻後にドイツと日本どちらとも戦争をおこなわないための条約を結んだ。

イ.ドイツは、ソ連と不可侵条約を結んだのちに、パリを占領しようとしたが、イギリスがフランスと共闘したため失敗した。

ウ.日本の軍部は、アメリカ・イギリス・中国・オランダの頭文字から ABCD 包囲陣と呼んだ。

エ.日本はドイツがポーランド侵攻をしたのちに、アメリカに対して防共協定を結んだ。

問題 4 p.161 写真「女性議員の誕生」、p.162 グラフ「農地改革表」、p.162 図「戦前・戦後の学制の比較」について述べた文として適当なものを、ア～エから選びなさい。解答番号 34

ア.戦後初の総選挙では、女性立候補者は 100 人をこえ、39 人が当選した。

イ.日本は戦前では自作地と小作地の比率に大きな差はなかったが、農地改革によって小作地が大幅に増えた。

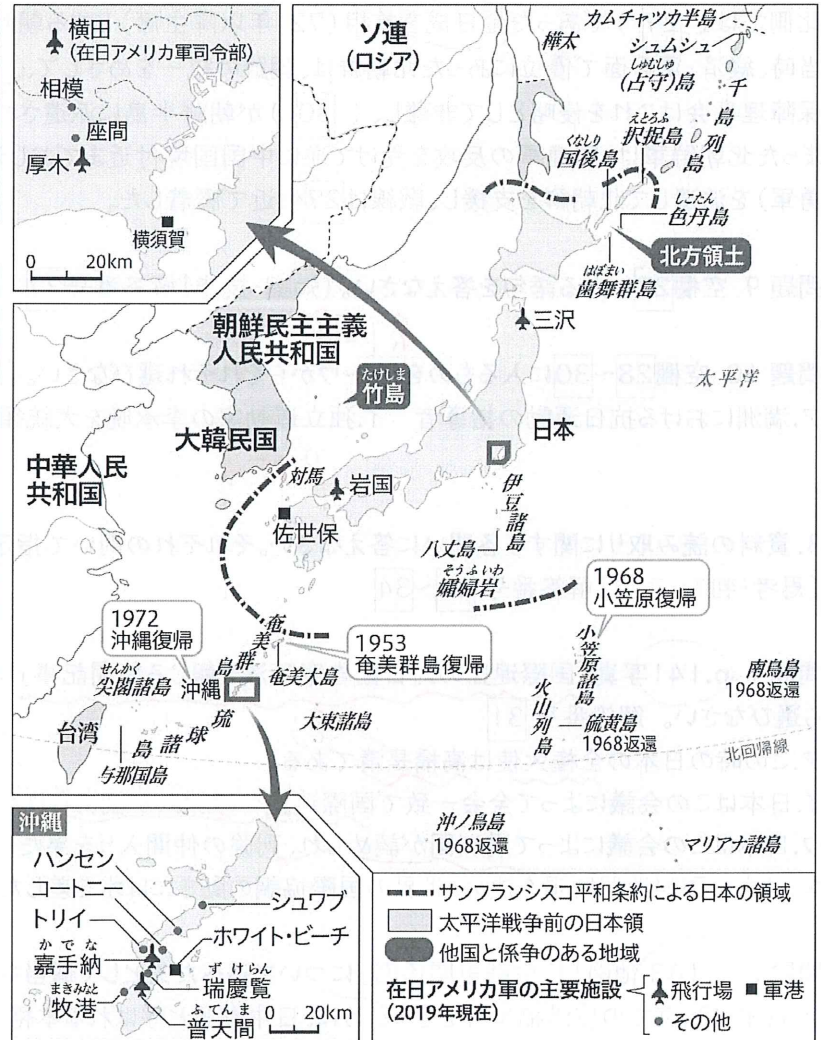
ウ.農地改革をおこなった理由は、寄生地主が貧しい小作農を生み、対外侵略の温床となったと考えられたためである。

エ.教育基本法・学校教育法によって、小学校までを義務教育として大学まで 6・3・3・5 制がとられた。

4. 次の資料に関する、問いに答えなさい。教科書 p.165～167【思考・判断・表現】解答番号 35

〔資料 1〕教科書 p.166

〔資料 2〕教科書 p.167



問題 〔資料 1〕〔資料 2〕について述べた文 A・B の正誤を判断し、適当なものをア～エから選びなさい。解答番号 35

A. 吉田茂首相は、サンフランシスコ平和条約に調印したが、国内状況もあり、日米安全保障条約には調印しなかった。

B. 日本は独立回復したが、独立回復直後の領土はほぼ本土に限られ、小笠原諸島と沖縄はアメリカの信託統治となった。

ア. A-正 B-正 イ. A-正 B-誤 ウ. A-誤 B-正 エ. A-誤 B-誤

5. 次の各会談に関する表について、あとの各問いに答えなさい。教科書 p.149 解答番号 36~45

会談名	出席者	内容	影響・その後のできごと
大西洋上会談 1941.8	F.ローズヴェルト(米) チャーチル(英)	ファシズム打倒をめざし、のち の平和構想がつくられた。	
36 会談 1943.11	F.ローズヴェルト(米) チャーチル(英) 蒋介石(中)	40 R.149③	43 R.150. R.149
37 会談 1945.2	F.ローズヴェルト(米) チャーチル(英) スターリン(ソ)	41 R.149⑥	44 R.149 R.150
38 会談 1945.7~8	トルーマン(米) チャーチル→のちに 39(英) スターリン(ソ)	42 R.149②	45 R.150 R.151

問題 1 「会談名」の空欄に入るものを、以下の語群からそれぞれ選んで答えなさい。【知識・技能】解答番号 36~38
テヘラン カイロ ポツダム カサブランカ ヤルタ

問題 2 「出席者」の空欄に入る人名を答えなさい。【知識・技能】解答番号 39

問題 3 「内容」の空欄に入る文として適当なものを、ア~オからそれぞれ選びなさい。【知識・技能】解答番号 40~42

ア. 国際連合設立の原則と具体案の作成が米・英・ソ・中の 4 カ国でおこなわれた。

イ. 対伊作戦をおこない、枢軸国に対する「無条件降伏」の原則を確認した。

ウ. 対日領土問題や朝鮮の独立等について決められた。

エ. ソ連が南樺太・千島列島領有を米・英から了承された。

オ. 日本に対し民主化や戦犯の処罰など占領方針を明示しつつ、無条件降伏を求めた。

問題 4 「影響・その後のできごと」の空欄に入る文として適当なものを、ア~オからそれぞれ選びなさい。【思考・判断・表現】解答番号 43~45

ア. 終戦によって米・ソは世界で影響力を高めた。アジア・アフリカの植民地の人々は独立へ期待を抱いた。

イ. この会談ののちに、テヘラン会談がおこなわれ、連合国によるドイツ攻撃が決定した。

ウ. 会談の翌月、東京大空襲で死者 10 万人以上が出た。その後多くの犠牲が出た沖縄戦が開始された。

エ. ミッドウェー海戦で日本が大敗し、圧倒的戦力を誇るアメリカが攻勢に転じた。

オ. 東南アジアの石油資源を確保するために南部仏印進駐がおこなわれた。